



学 校 だ よ り

6 月 号

都 筑

令和 8 年 5 月 2 9 日
横浜市立都筑小学校
校 長 大 賀 教 晶

学校HP <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsuzuki/>

「学ぼう つながろう やりとげる 都筑の子」

都筑小の校長先生は2人？

校長 大賀 教晶

一人一つの植木鉢で1年生はお花を種から、2年生は野菜を苗から育てています。暑い日でも雨の日でも水やりをして大切に育てている様子が毎年見られます。暑くなってきたので、毎日の水やりが大変そうです。1年生は今年度からは朝顔以外にも、ひまわり、マリーゴールドなど、自分が育てたいものを選んでいました。2年生は野菜の苗です。なす、ピーマン、オクラ、ミニトマトから育てたい野菜を選んで牛乳パックで植木鉢に土が多く入るように工夫して育てています。



1年生は学校が始まってすぐのころから、学校の中をクラスで回ったり、2年生に連れて行ってもらったりして学校たんけんに出かけます。学校にはどんな人が働いていて、どんな場所があるのかを自分たちで調べていきます。理科室、保健室、図工室、体育館、図書館、職員室、学校にある様々な部屋を見つけては何があったのかメモをしていきます。保健の先生、副校長先生、学校司書さん、技術員さん、と出会った人の似顔絵を描いていました。あっという間に学校中を探検した子どもたちが気になったのは「校長先生が2人いる。」ということです。学校たんけんをしながら働いている人に質問をしたときに「都筑小学校の校長先生」と「都筑ひまわりの校長先生」が混ざったようです。外国から横浜市の学校に転入してきた子たちが日本語を学ぶ日本語支援拠点である「都筑ひまわり」は市内には3つしかありません。普段から校内に日本語を学ぶ子たちが通学してくる都筑小の環境は珍しいものであり、子どもたちにとって貴重なふれあいの機会となります。5月の朝会では「都筑ひまわり」の先生方を紹介しました。「ひまわりに来ている子たちは、日本語を学びに来ているけれど、まだまだわからないことばかりだから、困っていたら親切にしてほしい」とひまわりの校長先生から都筑小の子たちにお願いを伝えられました。誰もが安心してすごせる都筑小学校であるためにこれからも取り組んでいきたいです。

6月に入り、これから急に暑くなる日が増えてきます。体が暑さに慣れていないこの時期は、熱中症に特に注意が必要です。ご家庭でも、本格的な夏が来る前に「暑さに強い体（暑熱順化）」を作っていきます。シャワーで済ませず湯船に浸かって汗をかく練習をしたり、涼しい時間帯に外で体を動かしたりすることが効果的です。また、登校前の「十分な睡眠」と「朝食」もしっかり摂れるよう、ご協力をお願いいたします。